



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.54
森林植物園の歴史
/市野 和雄
2007年9月発行



森林植物園

第54回テーマ： 森林植物園の歴史

講演内容

- ①森林植物園設立までの経緯
- ②「紀元2600年記念
神戸市立森林植物園造設計画」
- ③指定管理者としての
今後の園の運営の視点

実施日：平成19年9月15日（土）
午後1時～3時30分

場 所：六甲山自然保護センター
レクチャールーム



講師：^{いちの}市野 ^{かずお}和雄さん
プロフィール

1949年生まれ、新潟県出身。信州大学農学部林学科卒業。神戸市造園技術職員、布引ハーブ園施設課長、須磨離宮公園園長を経て、神戸市立森林植物園 園長。

秋の訪れを感じる六甲山

9月に入り、記念碑台ではススキが風にそよいでいました。晴天かと思うとにわか雨が降り、ころころ変わる天気にも秋の訪れを感じました。

午前中は近畿自然歩道を整備し、散策路脇の二ツ池の水生生物を調査しました。整備活動では、メジャーを使って散策路を10mずつ区画分けしていきました。今後は区画ごとに再生した植生を調査し、整備活動の効果を見極めていきます。



水生生物の調査の様子

市野さんは公園のスペシャリスト

市民セミナーには神戸市立森林植物園園長の市野さんを講師にお招きしました。市野さんは無類の山好きで、学生時代には山岳部に所属してヒマラヤまで遠征されました。山の縁で神戸市に就職して以来、公園の仕事に従事され、神戸市の公園のことを熟知されています。ブータン王室の庭も造られたとか。気さくなお話しぶりで、森林植物園の歴史を分かりやすく紐解いて頂きました。

森林植物園は日本で唯一の「樹木園」

森林植物園は昭和15年、皇紀2600年の記念事業として起工されました。世界の針葉樹を一堂に集めることを目標にしていると市野さんにご紹介いただきました。日本には植物園は数多くありますが、草花ではなく、樹木をテーマにした植物園は日本では唯一の存在だとお話されました。

指定管理者制度導入後の今後に注目したい

森林植物園も他の公共施設の例に漏れず、指定管理者制度が去年から導入されました。責任者である市野さんも色々な取り組みをされています。

六甲山上で活動する団体として、私たちも連携して六甲山を盛り上げる活動をしていきたいと思っています。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 高田 英裕さん

神戸生まれの神戸育ちで、麓の大学で学んだ影響もあり学生時代から六甲山への憧れがありました。幸いにも2年前に記念碑台近くに山荘を手に入れ、それ以降週末を山で過ごす内に、この素晴らしい大自然を介して役立ちたいと考えるようになりました。このようなことから森林インストラクターに興味を持ち始め、来年を目処に資格を取ろうと勉強を始めています。今回のセミナーはその一環として受講しました。予想以上に充実した内容で、非常に満足しています。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会
協力：兵庫県立人と自然の博物館
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】
コベルコ環境保全基金、セブン-イレブンみどりの基金
ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金